

稲作技術指導指針 目次

稲作技術指導指針 目次	1	(2) 病虫害防除	20
イネの一生 用語解説	6	(3) 収穫、乾燥、調製	20
		(4) 地域の条件に応じた品種の作付け	21
I 稲作重点指導事項			
1 品質向上に向けた重点技術対策の実践	7	III 水稻奨励品種およびその他品種の特性概要	
2 環境こだわり農業の実践	8	1 特性一覧表	22
		2 品種の特性概要	24
II 温暖化対策技術		① 奨励品種等	
1 近江米の1等米比率と温暖化の状況	9	ア コシヒカリ	
(1) 1等米比率の推移	9	イ キヌヒカリ	
(2) 2等以下格付け理由	10	ウ レーク65	
(3) 温暖化の状況	10	エ ゆめおうみ	
① 夏の気温の変化(全国)		オ 日本晴	
② 気温の変化(滋賀県)		カ 秋の詩	
③ 近年の稲作期間の気象と水稻生育の変化		キ 吟おうみ	
		ク 玉栄	
2 品質低下の要因	14	ケ 滋賀羽二重糯	
(1) 品質低下の主な要因	14	コ 吟吹雪	
(2) 白未熟粒の発生要因	14	② その他品種	
① 白未熟粒の種類		ア ハナエチゼン	
② 乳白粒、背白粒、基部未熟粒の発生要因		イ あきたこまち	
(3) 胴割粒の発生要因	16	ウ ひとめぼれ	
		エ ヒノヒカリ	
3 品質向上のための重点技術対策	16	IV 土づくり	
(1) 過剰な初数の防止と登熟期の稲体の活力維持	17	1 滋賀県稲作地域区分	28
① 施肥		2 地域区分・特徴	29
② 植え付け		3 土壌型と改良方向	30
③ 水管理		滋賀県水田土壌マップ	31
④ 土づくり			

4	有機物の施用	32	⑤ 緑化	49	
(1)	施用基準	32	⑥ 硬化	50	
(2)	施用方法	32	⑦ その他育苗管理について	51	
5	土づくり肥料、資材の施用	33	⑧ 育苗中の異常対策	53	
(1)	土壌養分状態の現状	33	⑨ 遅植用苗を育苗する上での留意点	53	
(2)	土壌型に基づく施用基準	33			
(3)	土壌診断に基づく土づくり肥料・資材の施用基準	34	3	本田準備および田植	55
6	作土深の確保	35	(1)	本田の準備	55
7	参考	35	①	耕起	
(1)	有機物および土づくり肥料の施用効果	35	②	均平作業	
①	家畜糞堆肥施用による基肥、追肥の減量		③	漏水防止	
②	牛糞堆肥連用田における施肥の省略		④	代かき	
③	稲わらによる土づくり		(2)	田植	56
(2)	作土深の確保	38	①	濁水防止対策	
(3)	土壌診断システム	39	②	植付本数	
①	農耕地土壌管理システム		③	栽植密度	
②	土壌診断システム		④	田植作業時の留意事項	
V	移植栽培		4	施肥	59
1	播種・移植時期	40	(1)	施肥基準	59
(1)	栽培型	40	①	施肥体系	
(2)	早限と晩限	40	②	施肥方法	
			ア	基本的な考え方	59
2	育苗	41	イ	N施肥基準	60
(1)	苗の種類	41	ウ	穂肥の施用法	66
①	稚苗		(2)	施肥田植機を用いた側条施肥	67
②	中苗		(3)	緩効性肥料入り複合肥料の利用	68
③	成苗		①	被覆肥料入り複合肥料の施用法	
(2)	育苗準備	43	②	被覆肥料利用上の留意事項	
①	育苗用土	43	③	その他の緩効性窒素入り化成肥料利用上の留意事項	
②	種子準備	47	(4)	有機質肥料の利用	68
③	播種	48	(5)	輪換田における施肥	69
④	出芽	49	(6)	参考	70

① 被覆肥料の特徴と利用法	70	⑭ ウンカ類	109
② 有機質肥料の利用法	72	⑮ 斑点米カメムシ類	111
③ 栄養診断	73	⑯ イネクロカメムシ	112
④ 水稻施肥診断システム	75	⑰ イナゴ類	112
⑤ 肥料節減に向けたリン酸、カリ施用の考え方	79	⑱ その他の病害虫	112
5 水管理	82	(2) 種子消毒法	113
(1) 通常の水管理	82	① 温湯消毒	113
(2) 肥料成分の流出防止	84	② 薬害消毒	114
① 水管理の改善による地表排水量の削減	84	(3) 環境にやさしい防除法	115
② 用水量の節減（自動給水栓の利用）	85	(4) いもち病の薬剤体系防除について	119
③ 施肥法の改善	86	① いもち病の発生に応じた薬剤防除体系	
④ 環境こだわり農業の取り組み	86	② 予防を主体とした薬剤防除体系	
⑤ 施設対策	87	(5) 防除の目安	121
(3) 山間山脚等冷水地帯の水温上昇対策	87	(6) 病害虫発生予察情報の活用	123
(4) 田越しかんがい地帯の水管理	87	① 病害虫発生予察情報の種類	
6 病害虫防除	88	② 情報の提供	
主要病害虫写真	88	③ 予報の見方	
(1) 主要病害虫と防除法	92	④ BLASTAMによる薬いもち感染好適日の推定	
① ばか苗病	92	7 雑草防除	126
② 細菌性病害（育苗期）	93	主要雑草写真	126
③ 苗立枯病	95	(1) 耕種的防除	128
④ いもち病	99	(2) 除草剤の効果的使用	129
⑤ 紋枯病	101	① 1キロ粒剤	
⑥ 白葉枯病	103	② フロアブル剤	
⑦ 黄化萎縮病	103	③ ジャンボ剤	
⑧ イネシンガレセンチュウ	104	④ 顆粒水和剤（ドライフロアブル）	
⑨ イネミズゾウムシ	104	⑤ 250グラム粒剤	
⑩ イネドロオウムシ	105	(3) 水田におけるノビエの葉期と水稻移植後日数について	132
⑪ ニカメイガ	106	(4) S U抵抗性雑草対策	133
⑫ ツマグロヨコバイ	107	(5) 近年問題となっている水田雑草等の防除技術	134
⑬ 黄萎病	107	① クログワイ	
		② イネ科多年生雑草	

③ クサネム		4 ほ場の準備	153
④ イボクサ		(1) 耕起	153
⑤ 藻類		(2) 代かき、均平	153
(6) 畦畔雑草の防除法	137	5 播種	153
		(1) 播種時期	153
8 収穫	139	(2) 播種量および播種深	154
(1) 収穫前の水管理	139	(3) 播種法	154
(2) 収穫時期	139	(4) 鳥害対策	155
(3) コンバイン収穫にあたっての留意点	141	(5) 播種直後の水管理	156
(4) ムレ米の防止	141	6 水管理	157
		7 施肥	158
9 乾燥	142	(1) 湛水土中直播栽培における基本的な留意事項	158
(1) 循環式乾燥機の構造	142	(2) 施肥基準	158
(2) 作業上の注意事項	142	8 病虫害および雑草防除	159
① 水分計の校正		(1) 病虫害防除	159
② 張り込み作業		(2) 雑草防除	160
③ 乾燥作業		9 収穫・乾燥・調製	160
④ 休止乾燥法（二段乾燥法）			
⑤ もち米の乾燥		Ⅶ 参考技術	
⑥ 酒米の乾燥		1 麦跡栽培	161
(3) 遠赤外線乾燥	144	(1) 品種および育苗	161
		(2) 本田準備および田植	163
10 調製	145	(3) 施肥	163
(1) 籾すり作業	145	(4) 水管理	163
(2) 米選作業	146	(5) 病虫害防除および雑草防除	164
(3) 色彩選別機	146	(6) 収穫・乾燥・調製	164
Ⅵ 湛水土中直播		2 乾田直播栽培	165
1 適応範囲	147	(1) 技術のねらいおよび適地	165
2 品種の選定	147	(2) 品種	165
3 種初準備	148	(3) ほ場準備	165
(1) 種子の予措	148	(4) 播種	166
(2) カルパーコーティング	148	(5) 施肥	167

(6) 水管理	168	2 「秋の詩」栽培の手引き	179
(7) 病害虫および雑草防除	168	(1) 秋の詩の特徴	179
(8) 収穫・乾燥・調製	169	(2) 栽培のポイント	180
(9) 不耕起V溝直播栽培	169	(3) 秋の詩の栽培基準例	182
3 レンゲ跡水稻栽培	171	3 「レーク65」栽培の手引き	183
(1) 技術のねらい	171	(1) 品種の特性	183
(2) 技術の内容	171	(2) 収量構成要素の目安	184
① レンゲの栽培基準		(3) 栽培のポイント	184
② レンゲのすき込み時期		(4) 食味特性	187
③ レンゲのすき込み		(5) レーク65の栽培基準例	188
④ 品種および育苗			
⑤ 施肥等		4 食味	189
 		(1) 栽培要因	189
4 カドミウム吸収抑制技術	174	(2) 収穫後要因	189
(1) カドミウムの由来	174	(3) 自然要因	189
(2) カドミウムの吸収特性	174	(4) 品種	190
(3) カドミウムの吸収抑制技術対策	174	(5) 土づくり	191
① 土壌pHの上昇によるカドミウム吸収抑制		(6) 施肥	192
② 土壌の還元によるカドミウム吸収抑制		(7) 作期	193
 		(8) 水管理	194
5 化学合成農薬に頼らない斑点米カメムシ類耕種防除栽培技術	176	(9) 収穫・乾燥・調製	194
(1) 技術のねらいおよび適応条件	176	(10) 貯蔵	195
(2) 技術概要	176		
① 畦畔2回連続草刈り技術		資料	
② 額縁別収穫技術		1 年次別水稻収穫量	196
③ 色彩選別機利用技術		2 作況指数一覧表	198
(3) 特許にかかる実施許諾の制限	177	3 主要品種の作付け比率の推移	199
		4 水稻の直播栽培面積および環境こだわり農産物(水稻)面積の推移	200
 		5 流通関係資料	201
VIII 参考資料		6 滋賀県水稻の生産費	202
1 「コシヒカリ」の栽培基準例	178	7 うるち玄米検査成績	203